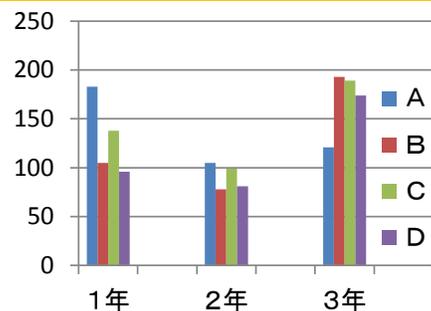


クラス別貸出冊数！

	A	B	C	D
1年	183	105	138	96
2年	105	78	99	81
3年	121	193	189	174

(統計期間：平成25年4月1日～平成26年3月18日)



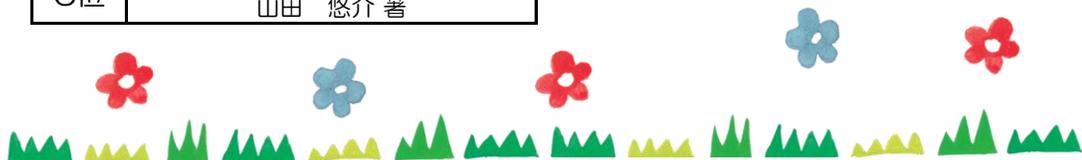
2013年度多読者！

3年	C組	都 正樹	91冊
2年	A組	入江 里菜	90冊
1年	A組	廣橋 知子	77冊
1年	C組	増成 果歩	42冊
2年	B組	藤本 菜摘	34冊



笠商で人気の本！

順位	タイトル 著者	順位	タイトル 著者
1位	新選組一番組長沖田総司の生涯 菊地 明 著	5位	恋する文豪 日本文学編 真山 知幸 著
2位	海賊とよばれた男 上 百田 尚樹 著	5位	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 村上 春樹 著
2位	桐島、部活やめるってよ 朝井 リョウ 著	5位	ティッチ パット・ハッチンス 著
2位	100回泣くこと 中村 航 著	5位	何者 朝井 リョウ 著
5位	奥の奥の森の奥に、いる。 山田 悠介 著	5位	ピブリア古書堂の事件手帖 4 三上 延 著
5位	海賊とよばれた男 下 百田 尚樹 著	5位	よるくま 酒井 駒子 著
5位	キリン 山田 悠介 著		



校長先生の読書日記 ～最終回～

<年間100冊への道>

“とにかく本を読む、我が「読書術」”

◆我が読書術

- ①読書は生きる力である。…人間は息をするように、本を読まねばならない。
- ②本は生きる糧である。…本は読んだだけ血となり肉となる。
- ③本棚は食料庫である。…読んだ本は自信を、読むべき本は未来をもたらす。
- ④積ん読は未来の糧。…読もうと思う本は購入する。未来への投資。
- ⑤文庫本を読む。…ベストセラーではなく文庫本のフィルターを通したものを読む。
- ⑥読んだ順に本を並べる。…本棚に自分史がある。本棚は心のアルバム。
- ⑦近所の書店を大切に。…無くなってみると本当によくわかる。
- ⑧大切な本は貸さない。…まず返ってこない。何度、二度買いたことか。
- ⑨フェアーには乗る。…グッズ目当てに読むのも読書法。
- ⑩一人の作家を読み込む。…文庫本で読める本は全て読む。達成感保証。疲労感も。

国民的映画『男はつらいよ』の主題歌は「目方で男が売れるなら こんな苦労も～」と唄う。「俺はこれだけ読んだんだ」という証が本棚である。だから、読む本は基本的に借りるのではなく買わなければならない。読書は目方で測れる。目方が自信となる。重厚な本棚に鎮座する、カラフルな文庫本。小さな文庫本が生み出す自信が生きる力だ。自分でそう信じて読んできた。これからも読んでいきたい。

◆笠商での2年間、読書日記を書く楽しみを与えてくれた生徒の皆さんに感謝します。是非本を読みつけてください。読書が必ずや未来を切り開いてくれます。

笠岡商業高等学校第36代校長 伊東伸介

<2月、3月に読んだ本>

○ほらふき男爵の冒険 ピュルガー編 岩波文庫(2/2)	○春の道標 <笠商図書> 黒井千次 新潮文庫(2/4)	○高く手を振る日 黒井千次 新潮文庫(2/6)
○ピブリア古書道の事件手帳5 三上 延 メディアワークス(2/9)	○血の騒ぎを聴け 宮本 輝 新潮文庫(2/14)	○ジャンプ 佐藤正午 光文社文庫(2/15)
○悪人正機 吉本隆明 新潮文庫(2/26)	○日輪の翼 中上健次 小学館文庫(3/2)	○カバヤ児童文庫の世界 岡 長平 岡山文庫(3/3)
○旧柚木家ゆかりの人々 倉敷倶楽部 岡山文庫(3/4)	○熊嵐 (くまあらし) 吉村 昭 新潮文庫(3/5)	○アルジャーノンに花束を ダニエル・キイス ハヤカワ文庫(3/11)